



資母っ子

7号 R2. 7. 2

校訓『強く 正しく 美しく』

校是『ほんものはつづく つづけるとほんものになる』

学校教育目標『いのち輝く ほんものの人づくり』

◇感謝を込めて 6年クリーン大作戦



図書室



体育館の犬走り



児童玄関



正面来客用玄関

6月24日(水)6年生が家庭科の学習の一環で感謝の気持ちを含めて、玄関と体育館の犬走り、図書室を掃除しました。

事前に子どもたちが調査をして、掃除をする場所を決定しました。その場所で、どんな掃除用具が必要かも考えて準備をしていきました。

当日は、各班に分かれて、一生懸命に取り組んでいました。日頃なかなかできないところも、美しく、きれいになりました。

◇手助けが必要 4年生車いす体験【6月26日】

～子どもたちの感想から～

○車イスに乗ってわかったこと

「高い場所の物がとれない」「坂道の登りが大変」「坂道の下りが怖かった」
「エレベーターに乗るのが怖かった」「マットを渡るとき、手助けが必要」
「大変だった」など

○自分でしたお手伝いで気が付いたこと

「高いところは車いすでは届かないので、手伝う」
「じゃまな物をどかしてあげる」
「狭い道が、広がって欲しい」「段差があるのは大変だ」
など

※車イスにのっている人に、どのように声掛けをすればよいか、考えながら手助けをしていました。

【ふくし…ふだんの 暮らしの しあわせ】

この福祉体験の活動を通して、普段の生活の中で、言葉や態度で人を嫌な気持ちにさせることはないか？

みんなが幸せな学校生活を送ることができているか再度考える機会としてほしいと思います。



マットの段差を乗り越え、マットとマットの間をうまく前輪を持ち上げて前に進んでいます。

◇3年 田んぼ生き物調査

3年生は、毎年、生き物の調査を実施しています。

今年は田植えができませんでしたから、田んぼの中に素足で入るのは初めてだった女子は、少し気持ち悪かったようです。ニユルニユルして「キャー、キャー」言いながらなんとか田んぼの中に入っていました。男子は、田んぼの中をあちこち歩き回っていました。

雨が降ってきたので30分程度で田んぼの中から出て、捕った生き物を観察しました。10種類以上の生き物を捕まえることができました。イトミミズがいて、大月指導員さんから「良い田んぼのあかした」と言われました。

「これだけの生き物がいるのは、農薬をあまり使っていないからだ」とも言っておられました。自然環境と生き物とのつながりを少しでも考える時間になったと思います。



◇お話たから箱



今年度初めての「読み聞かせ」です。前に集まって、確実に絵が見える状況で聴かせたいところですが、コロナ感染防止のため児童は椅子に座ったままで、絵が見にくい状況ながら、目を見開いて聞いていました。

読み聞かせに来ていただいた方からこんな話を聞きました。「教室の窓が開いていて、吹いてきた風

で、プラスチックのカゴがとんで落ちた。拾って元に戻したら、全員から『ありがとう』と言ってもらえた。」「風が強いな…と思っていたら、男の子が窓をそっと閉めてくれた」。言葉や行動の気遣いができる素晴らしい児童がいます。



※本に親しみましょう



一冊の本を親子で交互に読んでいます。

全校集会で親子読書について、劇を交えながら子どもたちに説明しました。少しでも多くの本に触れて、自分の世界を広げてほしい。そんな願いを込めながら、4人の職員が演技しました。

- ①親が子どもに絵本の読み聞かせをする。
- ②1冊の本を、親と子で交互に読んでいく。
- ③親と子で別々の本を10分間一緒に読む。
- ④その他、兄・姉が弟・妹に本を読んであげる。

子どもが、親に読み聞かせをする。

お家に居られるおじいさんやおばさんと一緒に読書をする。

など、「どんな方法でもよいので、本に親しむ時間を。」と、子どもたちに話しました。

なかなか時間が取れないかと思いますが、親子で読書をする時間を設けていただくとありがたいです。

親子読書週間についての便りを改めて出しますので、その期間だけでも取り組んでみてください。